平成30年春第6回盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」 最終審査の総評について

平成30年7月11日(水) 当金庫本町支店会議室にて、特別審査 員に藁谷 収 様(岩手大学教育学部美術教育科 教授)をお招きし、 当金庫から理事長 浅沼 晃、常務理事 藤澤 透、常務理事 永井 俊洋の 3名を交え、最終審査により16点の受賞作品を決定いたしました。

つきましては、藁谷教授より頂戴した総評を以下のとおりご紹介 申し上げます。





岩手大学教育学部教授 藁谷 収

今回、絵画コンクールの最終審査にあたり、一次・二次審査により選出された 50点の中から16点の受賞作品を選ばせていただきました。

審査員は私を含め4名で行い、各賞を慎重に審査いたしました。絵画作品の選考 という観点は、正しい絵画ということは存在せず、審査委員が作品から感じる、 それぞれの表現を受けとめることが重要になります。

当然審査員の受けとめ方は皆さん異なり、複数で審査することは不可欠に思い ます。審査の流れの中で、審査員4名の推薦理由も活発に行われました。

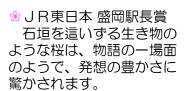
桜の咲く時期に、慣れ親しんだ風景を表現することは子供たちにとって貴重な 体験に違いなく、季節の変わる様子を記憶の中に留めていくことになります。

表現された桜は、それぞれ個性ある豊かなもので、驚かされるものばかりです。 学年を超えて、画面を構成する力強い確かな表現が伝わってきました。

受賞作品の中から、印象に残った作品の紹介を致します。

常盛岡信用金庫理事長賞 遠景、中景、近景の構図

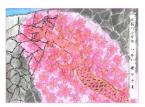
が見事に表現され、6年生 が求める遠近法が見て取れ ます。





画面上にふんわりとした 塊に切り取った桜。石垣の 背景にある、明るい黄色の 塊も表現された情景をより 豊かなものにしています。







●盛岡市長賞

画面をはみ出すように 一杯の桜が埋め尽くされ、 よく観察した木の面白さが 伝わってきます。



※3学年優秀賞

間違いなくその場にいて 桜の美しさを感じ、奥行き のある構成でダイナミック な表現に描き上げました。





最後に、一次・二次審査を担当された、佐藤 嘉彦 先生と柳村 栄 先生に改めて敬意を表します。

〇特別審査員 藁谷 収 様

岩手大学教育学部美術教育科 教授 (専門:都市計画・建築計画) 岩手大学教育学部附属幼稚園 園長 岩手県立美術館 館長 彫刻家、国画会会員

略歴

昭和28年盛岡市出身

昭和52年岩手大学教育学部特別教科教員養成課程(美術)卒 昭和54年~岩手大学教育学部美術教育科 助手

平成 8年~岩手大学教育学部美術教育科 教授

平成28年~岩手県立美術館 館長

最終審查 平成30年7月11日(水)於:盛岡信用金庫本町支店会議室

